

2月2日～3日例会： 親睦旅行
 2月5日例会： 例会日変更（親睦旅行と振り替え）
 2月12日例会： 世界理解月間 堀川国際奉仕委員長
 卓話「ペイオフ」石川勝行会員
 2月19日例会： 卓話 西山 斉会員・笹原壯玄会員



三条北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例会日
 2002. 1. 29
 累計 No 738
 当年 No 29

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
 ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会長/木 宮 隆
 幹事/山 中 正
 SAA/長谷川 恵慈

例会日/火曜日 12:30～13:30
 例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
 事務局/三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事： 「新年会」於三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時

出 席： 本日の出席 61名中 50名（内記帳4名）

先々週の出席率 61名中 46名 75.41%（前年同期76.79%）

先週のメイクアップ： 1月23日 三条RCへ 中條耕二さん

28日 三条南RCへ 石川勝行さん、青木省一さん、安田貞夫さん

佐藤啓策さん、梨木建夫さん、佐藤弘志さん

ビジター： 三条RCより（敬称略）菊池 渉、石橋育於、五十嵐晋三、松谷晃吉、佐藤 武

清水良一、樺山 仁、橋 直樹、渋谷健一、五十嵐昭一

三条南RCより（敬称略）田代徳太郎、荒澤威彦、吉井正孝、佐々謹弥

草野恒輔

会長挨拶： 木宮 隆



「言った言わない」の議論で又も外務省の茶番劇が再燃している。核心は何かと言えば、外務省改革を断行しようとする真紀子大臣とそれに抵抗する外務官僚及び彼らと癒着した族議員達との抗争である。しかし、政務次官の首をはねるついでに真紀子大臣をも更迭しようという野党議員の見識の無さには呆れてしまう。真紀子大臣のような閣僚の存在こそが小泉政治改革路線の象徴そのものだからだ。

真紀子大臣はこれまで様々な官僚の嫌がらせにも屈せずに、抵抗勢力と戦ってきた。重要な情報は大臣の許へは届かず、オフレコの発言が公然とリークされる。各省庁に巣食う第一種キャリアー達にとって真紀子大臣はまさに天敵であり、小泉政権が伏魔殿に打ち込んだ唯一の楔と言える。だから、ここで彼女を大臣ポストから外すことは省庁改革を断念することに他ならない。

実は、この一連のドタバタ劇こそが省庁改革が進捗しているシグナルであり、悪魔どもの「あが

き」なのではないのか。彼女以外の誰が大臣になっても、狡猾な官僚たちに手玉に取られるのが落ちだろう。ここは一番、真紀子大臣に頑張ってもらいたいものだ。

政治の世界に限らず、人は誰しも、従来、慣れ親しんできた体制や仕事を手放したくはないものだ。それがどんなに効率が悪く、将来性が無い仕事であろうと、余程の事が無い限り、やり方も含めて、仕事を変えようとはしないもののようだ。ましてその仕事で既得権を享受している者があれば、改革など、積極的にやる訳が無い。

ビジネスの世界でも、最近我々はとくに変化に対して臆病で保守的になってはいないだろうか。これまで築き上げてきた信用や投資した資金、人材、設備などを失いたくない故に、さらに、これまでの経験や知識が活かし易いが故に今の仕事を捨てきれないのではないのか。

いずれにしても、現在の不況はこれまでのような中途半端な妥協を許さないだろう。生き残りのためには慣れ親しんだ商売とも敢えて決別しなければならないほどの決断を迫られていると言っても過言ではない。真紀子大臣の苦悩はもはや他人事ではないのである。身分制度で縛られていた江戸時代はともかく、我々には職業選択の自由がある。今我々に欠けているのは事を決断する勇気だけだ。

幹事報告： 山中幹事

- ・野沢ガバナー事務所より 「良寛ものがたり」シンポジウム開催のご案内
日時 平成14年2月11日（月・祝日）13時～
会場 新潟市民芸術文化会館 演劇ホール
- ・次週5日は親睦旅行振り替えの為、例会はありません。記帳の用意をしますので、旅行に参加されない方はご協力お願いします。
- 理事会は12日11：30～です。後日ご案内いたします。

ニコニコボックス： 29日現在累計 690,000円

- 小林満君 山口さんがコメントは「明けましておめでとう」だけで良いと言われましたので……。
- 米山忠俊君 今日とは頂度家内の誕生日です。この新年会に出席してくるのに気が引けてきました。私の心が届くようにボックスに。
- 石川勝行君 北RC新年会、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
- 笹原壮玄君 節分会は日曜日ですが、雪が多く積もりませんように、元氣な黒鬼が活躍しますように、
- 大橋政雄君 楽しい楽しい夜例会です。
- 山口龍二君 BOXに協力。
- 小林繁男君 BOXに協力。
- 落合益夫君 BOXに協力。

- 安田貞夫君 BOX協力。
- 山崎勲君
- 石川友意君 ボックスに協力して。
- 佐藤文夫君
- 早川龍雄君 BOXに協力。
- 梅沢憲司君 繁男さん（ちゃん）に協力。
- 青木省一君 新年明けましてお目出度うございます。今年もよろしくお願いします。
- 久保博君
- 堀川正幸君

会員の声： 会津路への旅

ホテルに直行する友、会津若松駅で合流する友を除いて50年前の微かな想いを胸にした70数名のわれら同期生を乗せて、水と森のロマンのなかをSL「ばんえつ物語号」は走る。飯豊山系の山並みは4月の柔らかな陽光を受け残雪は輝き、阿賀野川に浮かぶ舟も目にやさしく映える。

「貴婦人」の車内は一車両貸し切りだけに乗車まもなく大宴会の雰囲気漂う。互いに50年前の記憶を懸命に手探りながら1本の糸に撚り挙げ、その思いに浸りながら一別以来の再会で来し方を肴にして盃を重ねる。そこそこの歳だけに宿での夜の部は大丈夫なのかなと少しは心配が走る。

人類の歴史は400万年とも言われている。そのなかでの我等の生涯は一瞬に等しいかも知れないが卒業以来過ぎ去った50年の行路とともに、当時とはほぼ同じ旅程を歩みながらどんな思いが心に去来するのだろうか。笑いが生まれ、夜明けまで語らいが続いたホテルでの一夜だった。星影のワルツの大合唱のなかバスは三条を間近にした。神戸に嫁いだかつての乙女の頬に一筋の光が流れるのをみて感動で身の震えを覚えた。

去年の4月、三条第一中学校第4回卒業生の一人として修学旅行再現の旅に参加した時の感想でした。

T. S.

2月の祝い：

誕生日			結婚記念日		
会 員			夫 人		
石川	友意	2	小林三千世	5	吉川 吉彦・直子 7
駒形	実	2	笹原 広子	7	埴山 忠義・愛子 16
小林	満	4	山本みち子	10	大橋 政雄・和子 28
落合	益夫	14	坂内 智恵	11	
西山	齐	16	馬場美恵子	14	
小林	繁男	19			
久保	博	22			
佐藤	文夫	25			
山中	正	27			